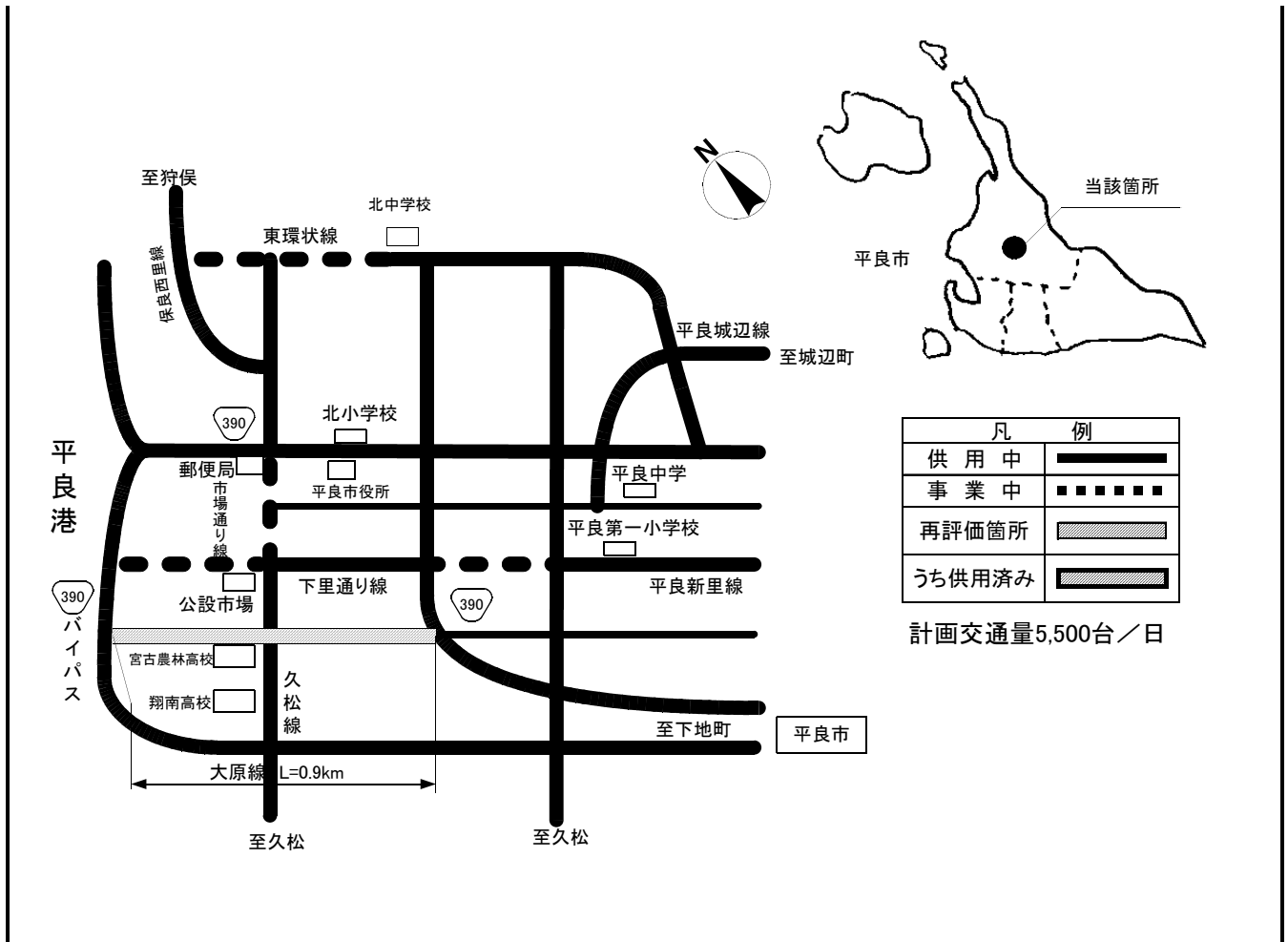


再評価結果（平成16年度継続事業箇所）

担 当 課：沖縄総合事務局建設行政課

担当課長名： 村山 継

事業名：大原線	事業区分：街路	事業主体：平良市			
起終点：自：平良市字下里大嶺 至：平良市字下里南原		延長：0.9km			
事業概要：大原線は、中心市街地、周辺市街地の市街地区分毎の環状路線と連結し、港湾と空港を結ぶまちのシンボルとなる都市軸を支える幹線道路として、既に整備された中央縦線とともに平良市の重要な路線である。					
H元年度事業化	S53年度都市計画決定 (H年度変更)	H元年度用地着手			
		H4年度工事着手			
全体事業費	約15億円	事業進捗率：64%			
計画交通量	5,500台/日	供用済延長：0km			
費用便益分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 3.8</td> <td style="width: 40%;"> 総費用：(残事業)/事業全体 5/15億円 (事業費：4.6/15.1億円) 維持管理費：0.1/0.1億円 </td> <td style="width: 30%;"> 総便益：(残事業)/事業全体 18/29億円 (走行時間短縮便益：16.7/28.5億円) (走行費用減少便益：0.5/0.8億円) (交通事故減少便益：0.5/0.1億円) </td> </tr> </table>	B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 3.8	総費用：(残事業)/事業全体 5/15億円 (事業費：4.6/15.1億円) 維持管理費：0.1/0.1億円	総便益：(残事業)/事業全体 18/29億円 (走行時間短縮便益：16.7/28.5億円) (走行費用減少便益：0.5/0.8億円) (交通事故減少便益：0.5/0.1億円)	基準年：平成15年
B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 3.8	総費用：(残事業)/事業全体 5/15億円 (事業費：4.6/15.1億円) 維持管理費：0.1/0.1億円	総便益：(残事業)/事業全体 18/29億円 (走行時間短縮便益：16.7/28.5億円) (走行費用減少便益：0.5/0.8億円) (交通事故減少便益：0.5/0.1億円)			
事業の効果等 ・物流的効率化の支援：市街地内通過交通の分断や空港、港湾等の大規模公共施設へのアクセス向上 ・良好な環境の保全・形成：周辺土地（墓地、荒廃地）の良好な環境の形成及び利便性の向上					
関係する地方公共団体等の意見 大原線は、墳墓等が学校、公園又は公共施設の近隣地に散乱している為、墳墓の移転等による要望などを近隣自治会又は学校関係者から受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 墳墓等の撤去により住宅の良好な環境保護の地域として、変わりつつある。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 事業の進捗は57%であり、残事業は工事L=505m、用地15筆、補償18件となっている。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地の殆どが共有地(70%完了)であり、これらの相続等の手続き又は、補償等による墳墓(90%完了)の移転などが難航した為、これらの解決(法的な手段等による)に向けて取り組んでいきたい。					
施設の構造や工法の変更等 特になし					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況から、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図					



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。